

平成 19 年 9 月 10 日
健康福祉事業本部
福祉部介護予防課

介護予防・認知症予防フェスティバルについて

練馬区独立 60 周年記念事業の一環として、講演や落語、区内活動団体の紹介などを通し、区民の介護予防や認知症予防への意識や取り組みへの意欲を高めるため、介護予防・認知症予防フェスティバルを開催する。

- 1 日時 平成 19 年 11 月 1 日(木) 午後 1 時から午後 4 時
平成 19 年 11 月 2 日(金) 午後 1 時から午後 3 時 30 分
- 2 会場 練馬文化センター 大ホール(2 日間)
- 3 フェスティバルの内容

1 日目 認知症の予防から支えあうまちづくり

第 1 部 基調講演

- (1) 「認知症の理解に向けて」
認知症介護研究・研修東京センター長 長谷川 和夫
- (2) 「今日からできる認知症予防」
東京都老人総合研究所主任研究員 矢富 直美

第 2 部 活動団体紹介 ～めざせ！認知症に強いまちづくり～

- (1) 活動発表
認知症予防推進員
家族会
- (2) 認知症予防推進員による「劇」

2 日目 はじめてますか？「介護予防」

第 1 部

(1) 練馬区健康いきいき体操

おたっしや隊 (介護予防推進員)

(2) 講演 「はじめてますか？介護予防」

東京都老人総合研究所 介護予防緊急対策室長 大淵 修一

第 2 部

落語 三遊亭金馬 他

高齢者筋力向上トレーニング機器の体験コーナーの設置

4 講師・演者のプロフィール

1 日目

長谷川和夫 専門は老年精神医学・認知症。長谷川式認知症スケール (HDS-R) の開発者として有名。開発されたのは、今から 30 年以上前の昭和 49 年のこと。一方、最近では、「痴呆」から「認知症」への名称変更の立役者でもある。

矢野直美 研究領域は、高齢者などのストレス、老人福祉施設の入居者のケア、高齢者の認知症予防。厚生労働省認知症予防・支援についての研究班メンバー。

2 日目

大淵修一 専門領域は理学療法学、老年学、リハビリテーション医学。平成 15 年介護予防新規メニュー、“高齢者筋力向上トレーニング”を提唱。現在は、高齢者の日常生活機能低下予防、転倒予防などを研究するとともに介護予防を区市町村に普及するための事業に従事。

三遊亭金馬 昭和 32 年真打昇進。昭和 42 年 4 代目「三遊亭金馬」を襲名。昭和 37 年、45 年芸術祭賞受賞。NHK の「お笑い 3 人組」で小金馬時代、一龍斎貞鳳、江戸家猫八とともに、日本中の人気者となる。先代金馬の芸を受け継ぎ、古典の本道を行く。

5 周知方法

区報掲載およびポスター掲示、チラシ配布等